

## 夏の出来事

市長 明智忠直



7月から続く異常なまでの猛烈な暑さ。いまだかつて無い、東から西への異例のコースを取った台風12号の上陸や、続く13・14号の接近により、この夏のイベントは台風の影響をまともに受けてしまいました。

旭市いいおかY・O・U・遊フェスティバルは台風12号の影響で、一日だけに短縮しての開催でありました。今年30回目を迎え、実行委員の皆さんには並々ならぬ思いがあり、一日に凝縮しての開催にもかかわらず、素晴らしい催しでありました。防潮堤への壁画、竜の絵は旭の未来を後押ししてくれる記念に残る作品となりました。そして夏の浜辺の夜空を彩る1万1千発の花火は、何万人もの人に華やかで幻想的な時間を与えてくれたものと思います。まさに旭市の一大イベントであり、ますます充実発展させていきたいとの思いであります。

旭市七夕市民まつりは、これも台

風13号の影響を受け、天候が心配される中での開催でありました。しかし一日目は雨もほとんど降らず、ミスあさひのパレードをスタートに、踊りやみこしのパレード、中央イベント広場でのステージショーなど、予定通りに行われました。また駅前通りを盛り上げる子どもたち制作の竹飾りやイルミネーション、観音通りの夜の店のにぎわいは、子どもたちにとつて素晴らしい夏の思い出になったことと思います。観光大使の椎名佐千子さんと桂竹千代さんの公演にも、雨の中ではありましたが、大勢の人の来場をいただきました。

さらにこの夏、旭にとつて喜ばしい事がありました。飯岡灯台が日本ロマンチスト協会から「恋する灯台」に認定されました。恋人たちの聖地として、これから大勢の若い人がこの灯台を訪れてくれるよう、市としても取り組んでいきたいと思うところであります。